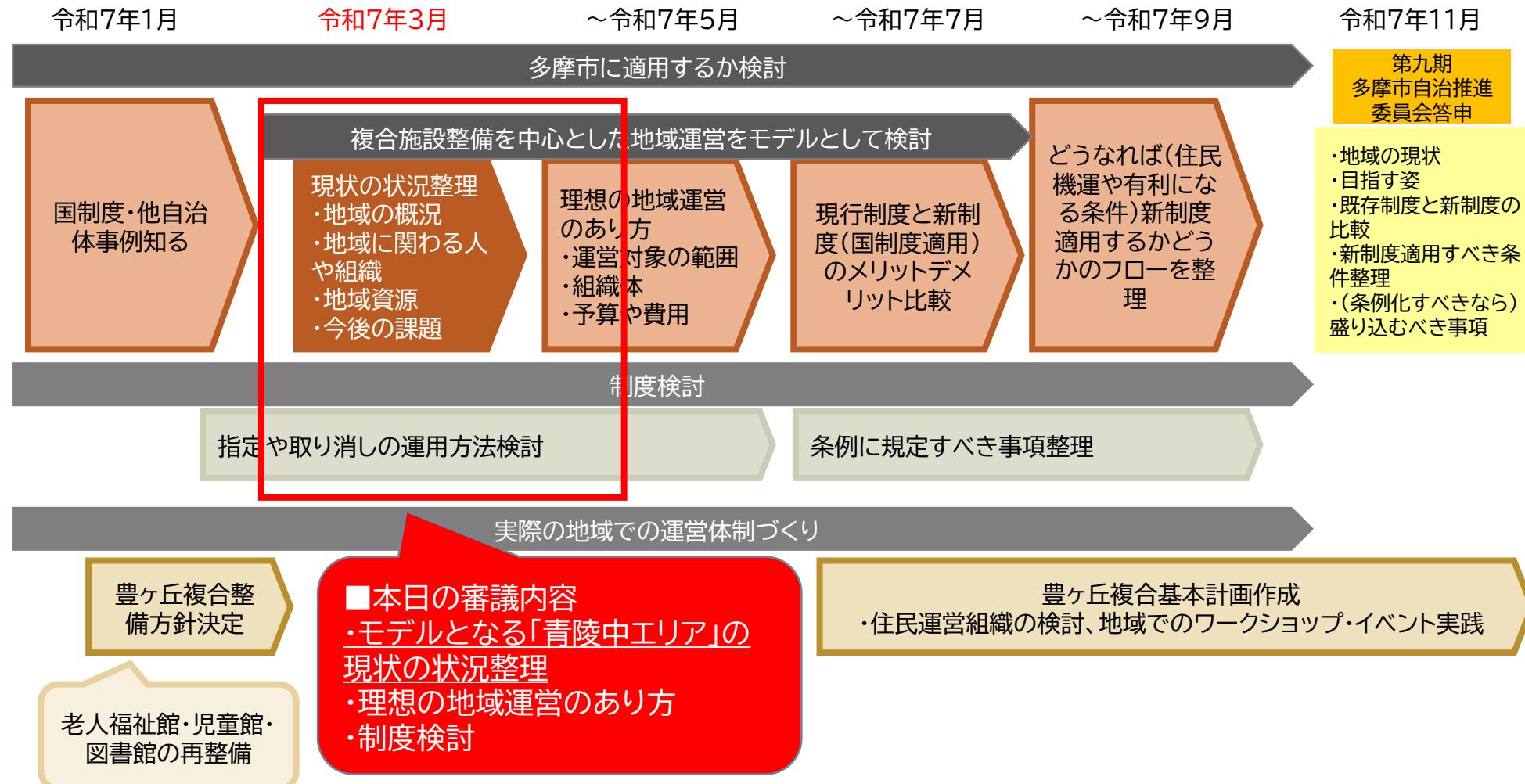
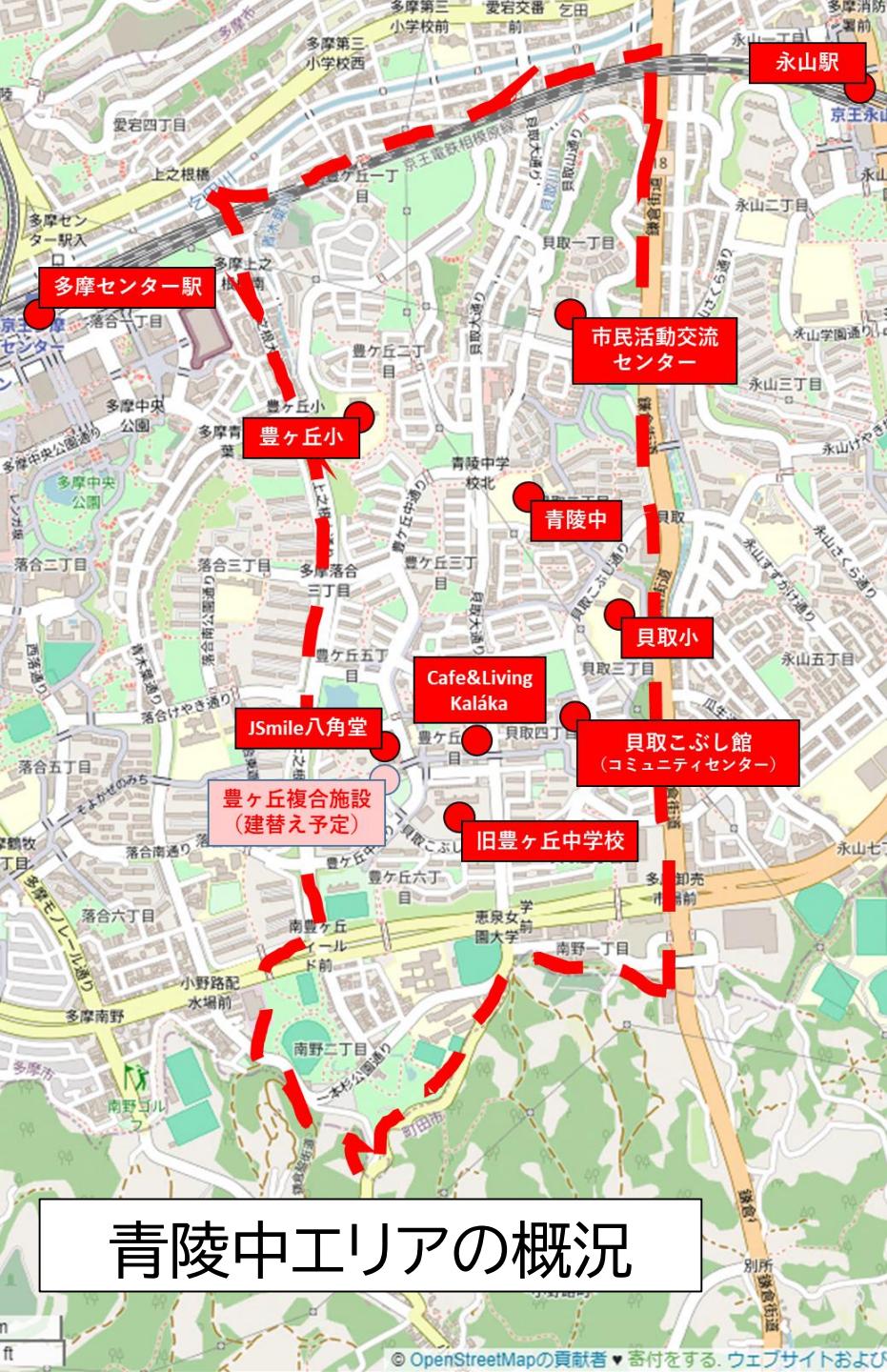


# 指定地域共同活動団体制度適用にあたっての現状整理

## ■議論スケジュール





## 青陵中エリアの概況

区分	名称
小中学校	豊ヶ丘小
	貝取小
	青陵中
施設等	豊ヶ丘複合施設 (図書館・児童館・老人福祉館・地区市民ホール)
	貝取こぶし館
	旧豊ヶ丘中学校
	市民活動交流センター
	J Smile多摩八角堂
	Cafe&LivingKaláka
活動団体等	こぶし館運営協議会
	多摩コミュニティパートナーズ (市民活動交流センター指定管理者)
	日本総合住生活(JS)
	NPO法人市民福祉ネットワーク多摩(Kaláka運営主体)
	地域福祉推進委員会きずな
	青少協豊ヶ丘・貝取地区委員会
	各学校PTA
	豊ヶ丘小おやじの会
	自治会・管理組合
自治会・管理組合	自治会:7 管理組合:25

当初は4小・2中

小学校は単学級中心

公園・遊歩道が豊富

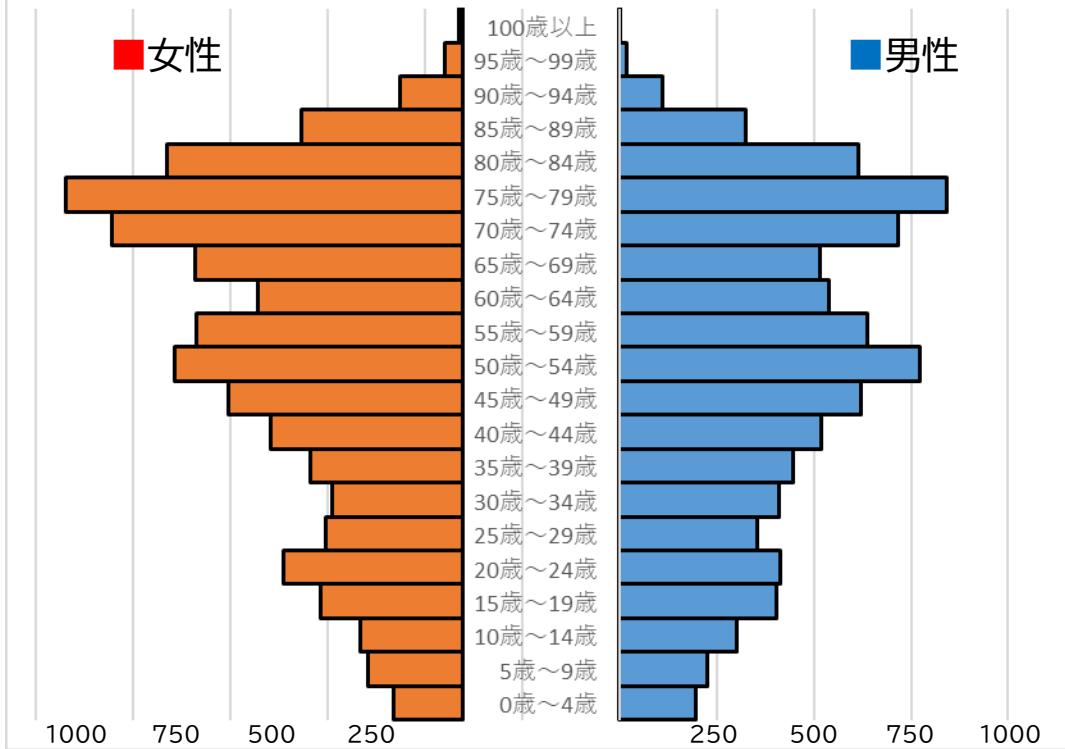
民間施設・拠点が  
多数存在

ランタンフェスティ  
バルなど地域行事有

担い手の重複、なり  
手の不足  
老人クラブ解散済

小さい単位が多く横  
断的な活動が少ない

## 青陵中エリア 人口ピラミッド



区分	高齢化率
貝取1丁目	29.5%(線路北側含む)
貝取2丁目	46.2%
貝取3丁目	45.0%
貝取4丁目	47.7%
貝取5丁目	48.5%
豊ヶ丘1丁目	20.6%(線路北側含む)
豊ヶ丘2丁目	38.5%
豊ヶ丘3丁目	49.4%
豊ヶ丘4丁目	52.7%
豊ヶ丘5丁目	49.2%
豊ヶ丘6丁目	45.3%
南野1、2丁目	19.3%(エリアの一部のみ)

令和7年1月1日時点

### ●エリアの特徴

- J Smile多摩八角堂などを拠点に、地域の中で様々なプレイヤーが連携しながら活動が行われてきている。
- エリアミーティングを令和5年度より開催。参加者がランタンフェスティバルやヨムカムマルシェなど地域のイベントに出展者として関わるなど、ゆるやかなつながりと活動が生まれつつある。

- 全体的に高齢化率が高いエリア。
- 豊ヶ丘複合施設の施設再編を予定しており、再編後の施設運営方策について今後検討していく必要がある。

# 青陵中エリア 複合施設整備を中心としたモデルの取組み

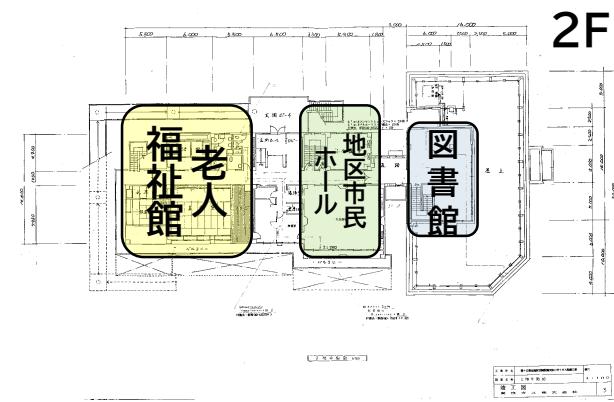
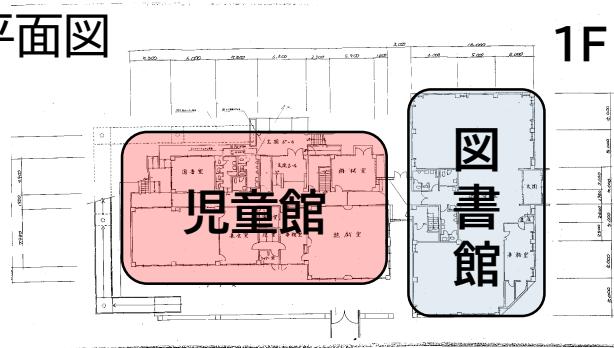
## ●豊ヶ丘複合施設整備

所在地	多摩市豊ヶ丘5-6	建築年月	昭和54年4月
用途地域等	第二種中高層住居専用地域 (60%/200%)23m第二種高度地区		
敷地面積	2,918.58m <sup>2</sup>		
建築面積	1,028m <sup>2</sup>	延床面積	1,548.66m <sup>2</sup>

複合施設 ①豊ヶ丘地区市民ホール②豊ヶ丘老人福祉館③豊ヶ丘図書館④豊ヶ丘児童館

用途(根拠条例)	構成(面積)	延べ利用人数
① 豊ヶ丘地区市民ホール (多摩市立地区市民ホール条例)	第一会議室(98.45m <sup>2</sup> ) 第二会議室(28.91m <sup>2</sup> )	7,719人(R5)
② 豊ヶ丘老人福祉館 (多摩市立老人福祉館条例)	集会室(30畳87.11m <sup>2</sup> ) 教養娯楽室(11畳29.7m <sup>2</sup> ) 浴室(29.4m <sup>2</sup> )	2,096人(R5)
③ 豊ヶ丘図書館 (多摩市立図書館条例)	1F書架・閲覧室(356.74m <sup>2</sup> ) 2F閲覧室(41.57m <sup>2</sup> )	66.595人(R5)
④ 豊ヶ丘児童館 (多摩市立児童館条例)	遊戯室(109.45m <sup>2</sup> ) 図書室(29.4m <sup>2</sup> ) 遊戯室2(43.73m <sup>2</sup> ) 旧学童(91.43m <sup>2</sup> )	20,539人(R5)

## ●平面図



## ●令和7年2月策定「コミュニティ施設の今後のあり方に関する基本方針」

大規模改修等の時期に合わせて、  
**世代を問わず広く利用可能なコミュニティ施設(コミュニティセンター、コミュニティ会館のいずれか)への転換**

# 青陵中エリア 複合施設整備を中心としたモデルの取組み

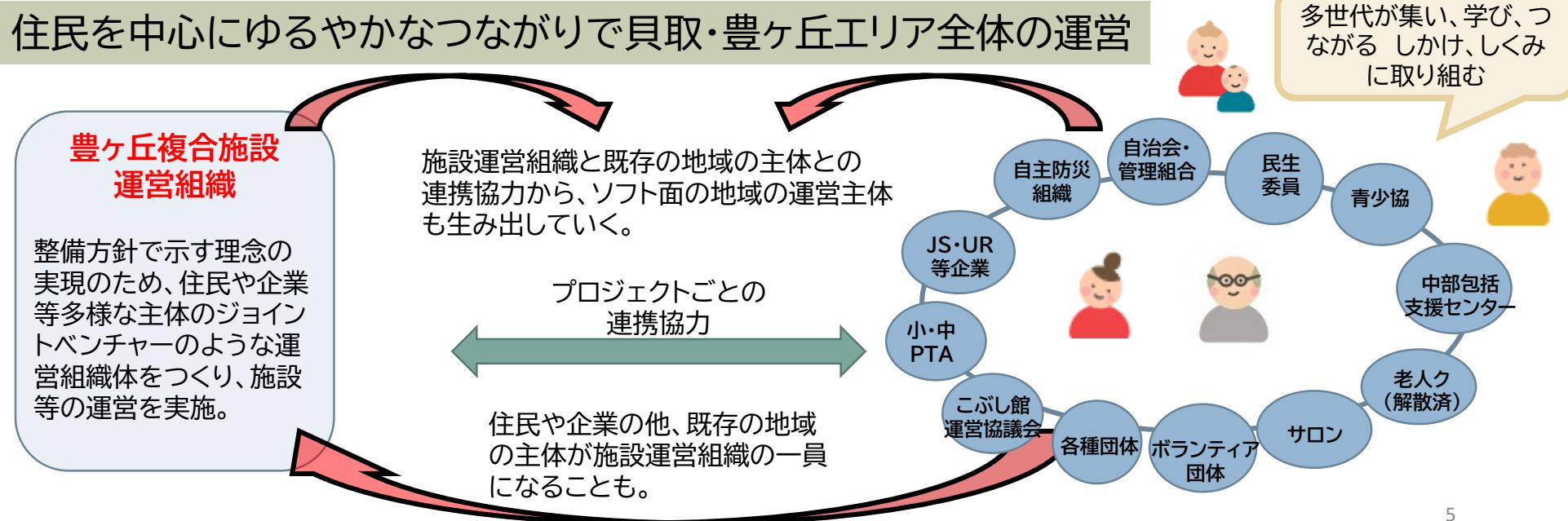
## ●令和7年3月策定「豊ヶ丘複合施設整備方針」

地域ニーズに柔軟に応え、多世代が集い、学び、つながる、豊ヶ丘の地域拠点

- (1) 地域の魅力の向上につながる施設づくり
- (2) 多世代で シェア(共有) できる施設づくり
- (3) 様々な主体同士がつながり合える施設づくり
- (4) 社会状況の変化や時代のニーズなどに柔軟に対応できる施設づくり
- (5) 実現可能な施設づくり

## ●運営方策案

### 住民を中心にゆるやかなつながりで貝取・豊ヶ丘エリア全体の運営



## ●青陵中(貝取・豊ヶ丘)エリアにおける地域運営の関係図

支援  
主体

協創推進室  
協創スタッフ・サポーター

中間支援機能を担う団体  
合同会社 MichiLab

社会福祉協議会  
地域福祉コーディネーター

地域拠点  
・施設

こぶし館、複合施設、八角堂、  
市民活動交流センター など

地域  
資源

貝取・豊ヶ丘商店街、貝取北商店街  
小中学校、保育園、公園 など

活動  
主体

新たな参画者(関心層→活動層)

包括支援  
センター

公共施設  
指定管理者

JS、URなど  
の企業

NPOなど各種  
地域団体

サロン  
団体

老人  
クラブ

コミセン  
運協

PTA

防犯協会

民生・児童  
委員

自治会  
管理組合

青少協

地域学校  
協働本部

自主防災  
組織

地域福祉部会

コミュニティ  
部会

こども部会

地域防災・防犯  
部会

プラットフォーム (地域の多様な主体が参画する協議会orゆるやかなつながり)